

# 平成 27 年度 事業 報告 書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

## 1 事業の成果

平成 24 年 6 月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートする」ことを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ州ミャウンミャタウンシップの 12 の村で平成 27 年 1 月から巡回診療を開始し平成 28 年 3 月末までに延べ 5558 人の受診者を得、261 人の病人を関係医療施設へ搬送した。また、ヘルストークというバランスの良い栄養をとる大切さや手洗いなどの保健衛生啓発活動を巡回診療の合間、及び週 1 回行う住民との話し合いで行い約 7600 人の参加者を得ることができた。話す保健衛生の内容は家族計画、手洗いの大切さ、トイレにフタをする大切さなど多岐に渡り、住民に予防医学の大切さを理解する一役を担った。毎回行う「ビレッジミーティング」では住民の問題点を探り、翌週の活動に反映させた。今回 12 月に地域保健推進員の育成を 5 日間行い 6 名の推進員が誕生し、その後 MFCG のメンバーの一員として保健衛生の大切さを住民に広めている。菜園に関して、8 月に専門家と提携して家庭菜園レベルで有機野菜の栽培の方法について 3 日間の講義とその 2 週間後の 3 日間の実践を行った。参加者は 1 人であったが平成 28 年 1 月に参加者の収穫は約 3 倍となり、収入も約 3 倍となり成果があった。その他、ミャンマーと日本の交流を深め、かつ支援者の輪を拡大するために定期的な講演会やミャンマー人と日本人との親睦会などを行なった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
A)国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1 巡回診療(移動クリニック)ならびにヘルストーク(保健衛生)啓発活動	平成 27 年 4 月 1 日 - 平成 28 年 3 月 31 日 計 153 回	ミャンマー エーヤワディ州ミャウンミャタウンシップ	4 人	約 9000 人	5957
	2. 活動報告会 (MFCG 主催イベント ミャンマー料理を食べる会など)	平成 28 年 3 月 26 日	JICA 東京 セミナールーム 411	約 20 人	約 80 人	300
		平成 27 年 12 月 5 日	カチン料理店 マリカ	約 20 人・約 30 人		

	3. 依頼講演（支援者との交流会など）	平成 27 年 10 月 15 日  平成 28 年 3 月 11 日 他計 24 回	第一松本ビル 2 階ホール  岡山コットン古都夢	1 人  1 人	約 30 人  約 40 人	50
	4. 活動啓発活動（参加イベント・インタビュー雑誌掲載など）	平成 27 年 11 月 28 日 29 日  平成 27 年 11 月 14 日  平成 27 年 7 月 12 日  平成 27 年 11 月 13 日  平成 27 年 6 月 15 日  計 12 回	増上寺（東京港区）ミャンマー祭り  あらわか福祉まつり（荒川区）  埼玉成恵病院（埼玉東松山）  NHK ラジオ深夜便  テレビ東京なぜそこに日本人で放	5 人  1 人  1 人  4 人	不特定  不特定  約 200 人  不特定  不特定	150
B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 巡回診療（移動クリニック）ならびにヘルストーク（保健衛生）啓発活動  2 地域健康推進員育成	平成 27 年 4 月 1 日 - 平成 28 年 3 月 31 日  平成 27 年 12 月 14 日 - 18 日および平成 28 年 3 月 3 日	ミャンマーエーヤワデア州ミャウンミャタウンシップ  ミャンマーエーヤワデア州ミャウンミャタウンシップカンコーズ村	約 4~6 人  4 人	約 9000 人  6 人	2819  同上に含む
C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1. 水害被害への緊急物資支援	平成 27 年 8 月 12 日 - 8 月 25 日	ミャンマーエーヤワデア州ミャウンミャタウンシップ	約 20 人	不特定	586

D)食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1 専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	平成 27 年 8 月 11 日 - 13 日 (講習) 8 月 25 日 - 27 日 [実習]	ミャンマー エーヤワ デ イ州 ミヤウ ン ミヤタウ ン シップ カン コース 村	2 人	4 人	949
E)生活向上をめざす人々を作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創	1 専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	1 人	1 人	同上に含む

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日 時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)

# 平成 27 年度 事業報告書

## < 報告期間 >

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

## 事業の成果

### 1. 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業

#### ① ミャンマー事業として

12 の村を巡回する移動クリニックを延べ 86 回行い、計 5558 人の受診者を得、延べ 261 人の重症患者を病院へ搬送致しました。

さらにヘルストークを計 225 回行い、延べ 5927 人の参加がありました。

平成 27 年 7 月に評価を行い、住民の 10%–30%の人々の手洗いなどの保健衛生に関する認識の改善を確認しています。

#### ② 国内事業として

##### 1) 活動報告会

毎年 3 月第 4 土曜日に開催しています、MFCG 活動報告会を JICA 東京にて開催しました。また平成 27 年度は依頼講演も、計 24 回あり、その他に テレビ東京などの放映、NHK のラジオ深夜便のインタビューなどもあり MFCG の活動が広まっていきました。

##### 2) ミャンマー人との交流会

偶数月にミャンマー料理を食べる会を開催し、日本人とミャンマー人との交流の場として文化、国政などの意見交換に活用しています。毎回約 15 名の参加者がいます。

##### 3) 物品販売

平成 27 年 7 月 18 日 19 日、日暮里マルシェにて初めてミャンマービールなどの販売をし、約 10 万円の売り上げを得ました。

その後、11 月 28 日 29 日の増上寺で開催されたミャンマー祭りに初めてブースの出展を行い、ポン菓子やミャンマーの伝統的なスカーフなどの販売を行いました。

### 2. 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業

① 平成 28 年 1 月 28 日から巡回診療（移動クリニック）を開始し、12 の村を 2 ヶ月半で一巡するペースとし、進めました。診療を受けにくるのは村の住民は季節移動労働

者がほとんどのため女性が多く診療を待つ時間を利用して、手洗い方法や栄養のバランスの話（ヘルストークといいます。）をして保健衛生啓発活動を頻回に行いました。なぜなら今までに彼らにはそのような知識を得る機会がなかったからです。また診察後、受診者に内服薬を手渡すときには、目の前で実際に内服して頂き、お母さんたちには薬剤の服用指導も併せて行いました。毎週金曜の1日を村の各層の人びととの話し合いの場として、「ビレッジミーティング」を設けました。話し合いの目的は、村人の生活環境や健康であり、その時々困っている事について質問を投げかけながら、感染症の予防や栄養改善のためのアドバイスをしています。移動クリニックを開始してみてもビタミンB1不足による脚気が多いことが判明しました。脚気は死に至る病気です。その為、ビタミンB1不足を改善する方法として①主食の米の研ぎ回数を少なくする。②研ぎ汁を捨てないで飲んでもらう、ことを実践していくことにしました。住民に理解し納得してもらう為に、彼らの前で実際に米を研ぎ、炊飯して試食会のデモンストレーションを行いました。その合間にもヘルストークを行い、なぜこのようなことが住民に必要なのかを理解してもらいました。このような活動は地道に広がっており、再度、村に移動クリニックを行ったときに、実践してくれている住民が約10%~30%に達していました。また7月に評価表を作成し、MFCGが診療を行う前から知識があったのか、または知識があっても実践していなかったのかなどの調査を行いました。これはMFCGの成果だと思えます。

## ② 地域健康推進員の育成（CHP）

MFCGの事業の中で最も力をいれています、地域健康推進員の育成です。これは村の住民の中から希望者に一日5時間の保健衛生の講義と実習を5日間受講して、住民自らが自分たちの手で病気の予防することを学び、住民に広めていくことを目的としています。

平成27年12月14日—18日までカンコースという村で行い、その3ヵ月後の平成28年3月3日に振り返りの一日講座も再度開催しました。参加希望者は6人で平均年齢は59歳です。（男性2人、女性4人）参加者の中には学校に行ったことがない人もおり、読み書きができない様子です。授業の前にプレテストを5日目終了後にはポストテストを行い、その程度の理解力がつくか比較してみました。中には、プレテストでは7%程度の正解率だったにもかかわらず最終日には80%以上の正解率となった人が2人もおり、人間は自分がやりたいことは無限大の能力が存在するという事に改めて気がつかされました。講義の内容は多岐に渡り、クイズやどのようにやったら住民の習慣を変えられるか実例を提示しながら行われました。

## 3. 災害その他の緊急事態に対する救援、復興支援および防災事業

平成27年7月末から洪水が発生し災害がマイアウンミャタウンシップおよびパティンに

まで拡大し、被災した住民が続出しました。そのためMFCGは懐中電灯260個、飲料水、ロンジやエンジ、非常用食料（カップヌードルなど）、お米は150BAGの提供を行いました。合計5861300MMKSの費用がかかりました。

#### 4. 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業

移動クリニックの中と週1回行う「ビレッジミーティング」において、野菜を食べることの必要性がどのように理解されているのか、家庭菜園作りへの関心がどの程度あるのか、菜園を始めるにあつたての障害は何か、などを話し合いました。そこで得た結果からまずは家庭菜園づくりから始めることを考え、平成27年8月に講義3日間、実習3日間の有機野菜栽培の講習を専門家と連携して行いました。

モデルケースの村、カンコース村で希望者を募り、3人が名乗りましたが、実際に参加したのはたった1人でした。平成27年8月11日―13日に講義を、8月25日―27日に実習を行いました。講師は、シャン州から元地球市民の会の講師を招聘しました。実習では実際に木酢酸やぼかしを作成し、きのこ、カリフラワー、きゅうりなどの栽培を実践。平成28年1月に収穫は3倍になり、近所の村の住民も野菜を購入するようになり、収入も3倍になりました。平成28年度はミャンマー有機協会から認定を受けて、ヤンゴンで販売することを視野にいています。また7月にはモデル村として再度このカンコース村でこの有機野菜栽培のコースを行う予定です。

#### 5. 生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用算出事業

4.の事業から有機野菜の栽培、および販売まで考えたときに、平成27年度は産物である有機野菜の質、量は3倍以上に増え、収入増加に寄与しました。また、近隣の村からも栽培された作物の購入があり、他の村への効果波及も考えられるようになりました。平成28年7月に再度この村で有機野菜の講習を予定しており、参加希望者が増えていると感じています。また、巡回診療を行っている他の村でも順次講習を広めていく予定です。

# 平成 28 年度 事 業 計 画 書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

## 1 事業実施の方針：

平成 24 年 6 月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートする」ことを目標に活動している。目標の実現に向けて、具体的に 3 つの活動「巡回診療（移動クリニック）」「保健衛生指導」「家庭菜園支援」を展開している。平成 25 年度に、保健省と MOU (Memorandum of Understanding) も締結し、平成 27 年 1 月末からミャウンミヤの現地で 12 の村を廻る巡回診療（移動クリニック）を開始し、手洗いなどの保健衛生啓発活動も行っている。平成 28 年度もこれを継続しつつ、地域健康推進員の育成に力を注ぐ方針である。村の住民の中から 5 名ずつ選抜し、住民が自らの手で疾病予防していけるようになるための啓発教育となる。菜園に関し、平成 27 年度は、特に病気を引き起こす栄養素の欠乏を予防するにはどうしたらよいかという観点から啓発活動を実施、また、専門家と連携し、有機野菜の知識を得る講習および実践講習を行った。今年度もこれを継続して、カンコース村をモデル事業とし、さらにこれを各村に拡大していく予定である。その他、ミャンマーと日本の交流を深め、かつ支援者の輪を拡大するために定期的な講演会やミャンマー人と日本人との親睦会などを開催する。また、日本に住んでいるミャンマー人の健康促進に寄与するために年 1 回ほど無料健康相談会を計画している。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 数	支出額 (千円)
(A) 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1 参加型モニターツアーの実施	2016 年 10 月 その他	ミャンマー エーヤワディ 州ミャウン ミャタウン シップ	7 人	10-15 人/回	300
	2 日本での報告会開催（ミャンマー料理を楽しむ会）	2 カ月毎	日本	3 人~4 人/回	約 90 人	10
	3 定例活動報告会	3 月末その他	日本	約 20 人	約 80 人-140 人	500
	4 日本での依頼講演など	2-4 回・3 カ月毎	日本	1 人	20 人-100 人/回	50
(B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 巡回診療（移動クリニック）	2016 年 4 月以降（月 12 回・12 村/回）	ミャンマー エーヤワディ 州ミャウン ミャタウン シップ	4 人~5 人/回	ミャウミャウ地域の選定した村の住民 80 人~100 人/1 村、不特定	2982

	2 地域健康推進員という保健衛生員の育成と自立支援	2016年9月 その他	同上	5人	選定した各村から5人/1村	480
	3 予防医学（保健衛生）啓発活動	2016年4月以降（月12回・12村/回	同上	1人	ミャウミャウ地域の選定した村の住民80人~100人/1村、不特定	6740
	4 地域健康推進員の継続的・自立的な保健啓発活動の支援	2016年4月以降（月12回・12村/回	同上	4人	ミャウミャウ地域の選定した村の地域健康推進員5人~6人/1村、不特定	4608
	5 現地の住民との課題解決会議開催	4回/月	同上	5人	選定した各村から10人-30人/村/回	100
	6 日本におけるミャンマー人対象の無料健康相談会	年1回	日本	各20人	ミャンマー人各40人/1回	30
(C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1 特発的に生じた災害に対する調査・医療援助等					
(D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1 菜園事業・他の専門家との連携による講師派遣など	2016年7月以降	ミャンマー エーワディ 州ミャウン ミャタウン シップ	6人	選定した各村から3~5人/村	6274
	2 作物栽培・作物の栄養・調理法に関する教育活動	2016年7月以降	同上	5人	選定した村の住民30~40人/村	同上を含む
	3 作物栽培の販売ルートの開拓・専門家との連携による広報活動	2016年7月以降	同上	3~6人	選定した各村から3~5人/村	同上を含む
(E) 生活向上をめざす人々を作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	1 (D)の相乗効果より菜園事業の近隣の村への拡大	2016年7月以降	同上	5人	選定した各村から3~5人/村	4056

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
イベント	第3回成恵会音楽部チャリティー演奏会	平成28年7月10日	東松山成恵会病院	20人	20

イベント	第4回ミャンマー祭り	平成28年11月26日 (土) 27日(日)	増上寺	30人	60
イベント	グローバルフェスタ	平成28年10月5日 (土) 6日(日)	代々木公園	20人	50